



第 37 回日本自然災害学会学術講演会に参加しました（2018/10/6-2018/10/7）

テーマ：第 37 回日本自然災害学会学術講演会

場所：仙台市中小企業活性化センター（宮城県仙台市青葉区）

URL：https://www.jsnds.org/annual_conference/

10月6日(土)～7日(日)の2日間、仙台市中小企業活性化センター（宮城県仙台市青葉区）で第37回日本自然災害学会学術講演会が開催されました（主催：日本自然災害学会）。拠点メンバーからは、実践防災学研究領域の越村俊一教授、泉貴子准教授、柴山明寛准教授、サッパシー・アナワット准教授、門廻充侍助教および災害理学研究領域の福島洋准教授ら6名の教員が参加し、研究発表を行いました（筆頭として4件、他所外の研究者と連名で7件）。発表者の講演題目等は次頁以降に記載しております。今後も災害科学研究拠点では各種学会・シンポジウム等を通して、多くの研究成果を国内外に発信して参ります。

文責：門廻充侍（実践防災学研究領域）



越村俊一教授



泉貴子准教授



門廻充侍助教



当日の様子

※下線は拠点メンバーの教員

著者	タイトル
久利美和, <u>サッパシー・アナワット</u>	火山ハザード情報に関する観光地に住む住民の意識調査
佐藤翔輔, <u>今村文彦</u>	石巻市における震災伝承・震災遺構に関する3つの検討会議の事例分析:会議手法に対する有効性の検証と配慮すべき点
馬場亮太, 佐藤翔輔, <u>今村文彦</u>	来訪者を対象とした津波避難誘導に関する実験的研究
新家杏奈, 佐藤翔輔, <u>今村文彦</u>	リアス式海岸を有する2市間での東日本大震災の津波避難行動に関する比較分析 - 岩手県陸前高田市・宮城県気仙沼市を対象にして -
福谷陽, 森口周二, 小谷拓磨, <u>寺田賢二郎</u>	接合分布関数を用いた津波による複数建物の同時被災評価
八木秀文, <u>今村文彦</u> , 後藤和久, 佐藤翔輔, 安倍祥	M00Cによる防災教育の実践 ~「東日本大震災の教訓を活かした実践的防災学へのアプローチ - 災害科学の役割」を事例に~
<u>門廻充侍</u> , <u>今村文彦</u>	東日本大震災を踏まえた津波死の体系化の試み
佐藤健, 桜井愛子, 定池祐季, <u>柴山明寛</u> , 丸谷浩明	仙台市における「がんばる避難施設」の社会的意義と東北大学への導入
<u>今村文彦</u> , <u>泉貴子</u> , 橋浦潮, 高橋友貴, 中島由美	市民向け「仙台防災枠組講座」の実施状況と今後の課題 ~大学と自治体の連携による新しい取組~
<u>福島洋</u> , 森口周二, 久利美和, 中鉢奈津子, 安倍祥	南海トラフ地震の臨時情報と社会対応のあり方について課題と展望
<u>越村俊一</u> , Luis Moya, <u>Erick Mas</u> , Bruno Adriano, 横矢直人	西日本豪雨を契機とした広域水害の教訓と課題 ~広域被害把握に着目して~

以上